

岩室ネットワーク

■この広報紙にあなたが写っていましたら、総務課企画係（☎82-4111内線 215）へご連絡ください。写真をさしあげます。

いい顔、ありがとう

和納第二保育園の笹流し行事から（7月12日）



今月の「このひと」は、本シリーズでは初めて女性のかたのご登場です。その人は、この春の叙勲で自治功労者として「勲六等宝冠章」を受けられた石瀬の本間寿むさん（82歳）です。

本間さんについては、もうご存じのかたも多いかと思いますが、本村初の女性村議会議員として昭和二十四年十月に旧岩室村議会にデビュー以来、昭和四十一年三月まで、二度にわたる町村合併を経験しながらも連続五期十八年間、つねに第一線の女性議員として本村の発展のため活躍されました。

「村議に立候補した理由ですか」とまず第一にあげられるのは、主人の理解と協力ですね。それ故、渡辺洞雲先生が、男と女は何も変わりはない、女性も参政権を得たのだから（昭和21年12月）

婦人議員として値打ちのあること、そう、女性でなければ気がつかない点を村政に反映してほしい、との強い支援などがあつたからです。もちろん、わたし自身がその方向に傾いていたことは申し上げるまでありませんが……」と

当時の経過を話す本間さん。しかし、時は終戦後間もないため、それこそ社会情勢や住民生活はいま

月の「このひと」は、本シリーズでは初めて女性のかたのご登場です。その人は、この春の叙勲で自治功労者として「勲六等宝冠章」を受けられた石瀬の本間寿むさん（82歳）です。

本間さんについては、もうご存じのかたも多いかと思いますが、本村初の女性村議会議員として昭和二十四年十月に旧岩室村議会にデビュー以来、昭和四十一年三月まで、二度にわたる町村合併を経験しながらも連続五期十八年間、つねに第一線の女性議員として本村の発展のため活躍されました。

「村議に立候補した理由ですか」とまず第一にあげられるのは、主人の理解と協力ですね。それ故、渡辺洞雲先生が、男と女は何も変わりはない、女性も参政権を得たのだから（昭和21年12月）

婦人議員として値打ちのあること、そう、女性でなければ気がつかない点を村政に反映してほしい、との強い支援などがあつたからです。もちろん、わたし自身がその方向に傾いていたことは申し上げるまでありませんが……」と

当時の経過を話す本間さん。しかし、時は終戦後間もないため、それこそ社会情勢や住民生活はいま



これが「勲六等宝冠章」ですと、本間寿むさん。昭和24年10月24日～43年2月13日まで連続5期18年間、村議を務める。この間、総務文教副委員長として、また婦人会長としても精力的に活動。県立長岡高等女学校卒業。明治38年8月11日生まれの気丈な明治女性である。

感があり、その中でも和納との合併問題では、わたしたち議員は連日、調整のため各地区を駆けめぐり、夜遅くなることもたびたびで、それはそれは大変でした。その前にも、全国で初めてという首長（村長）のリコールが行われるなど、まさに激動の時代！だったように思います。でも村民のためと、議員全員が村の「和」が何よりも大切だと、大同団結して幾多

つとも印象深い「時代」を再考する本間さん。その話しぶりの中から當時の村の動きがヒシヒシと伝わってくるような気がします。

ところで、本間さんの叙勲伝達式は去る五月六日に県庁で、そして皇居での挙式は五月十三日に行われました。「挙式は主人（本間さん）が教育功勞で叙勲を受けた昭和四十七年に一度経験しているのですが、今回は配偶者（八十太郎さん）が教育功勞で叙勲を受けた昭和四十七年に一度経験

感想です」という言葉のうらに本間さん的人柄が率直に表れているような気がします。

——本間さん、受勲ほんとうにお元気でお過ごしください……。

このひと

No. 10

本間寿むさん（石瀬）

とは比較にならないこと不安定で、本間さんは日夜、山積みの諸問題に対応する毎日だったといいます。

「とくに、昭和三十年前後は町村合併などの問題があり、今まで非常に強い印象が残っています。当時、村は揺れに揺れ動いている

の問題を一生懸命解決するために働いたような気がします。そんななか、女性ということでもみなさんに随分かわいがついていただいたせいか（指導助言や協力などで）、五期も村議会議員を続けさせていたいたような気がします」と、十八年に及ぶ議員生活の中でも

者という立場でなく、わたし自身のことというせいか、ちょっと緊張してしまいました。とくに、天皇陛下の代理で皇太子殿下から「天皇陛下のお言葉をお伝えします」といわれたときには、ジーンとしてしまい、わたしみたいなものが……と、つい感激してしまいました。そのうえ、東京にいる子供や孫たちからもお祝いをしてもらひ、本当にありがたいことでした」と目を伏せるように挙式の模様を素直に話す本間さん。「この年になつてこんな祝福（叙勲）をいただけるなんて、本当に幸せ者だと思つています。それで、今回叙勲を受けたことで、今まで以上にしっかりと、そして真摯に生きようと誓いを新たにいたしました。でも、叙勲はわたし一人の功績なんかではありませんね。見守つてくれた主人をはじめ、わたしを支えてくださつた多くのみなさまのおかげだと思います。本当に心から感謝しています」と控えめに喜びを話す本間さんに明治生まれの女性が持つ、心丈夫とやさしい気くぱりを感じました。とくに「本当に幸運者です」という言葉のうらに本間さん的人柄が率直に表れているような気がします。

——本間さん、受勲ほんとうにお元気でお過ごしください……。



ただいま最盛期

夏の味覚の一つ「枝豆」。ビールのおつまみ、おやつとして最高ですね。ここ夏井地区では、昨年から農家10軒が協同で集団栽培（今年70アール）をはじめ、県内消費者へ子供たちと一緒に毎日がんばっていることでしょう。

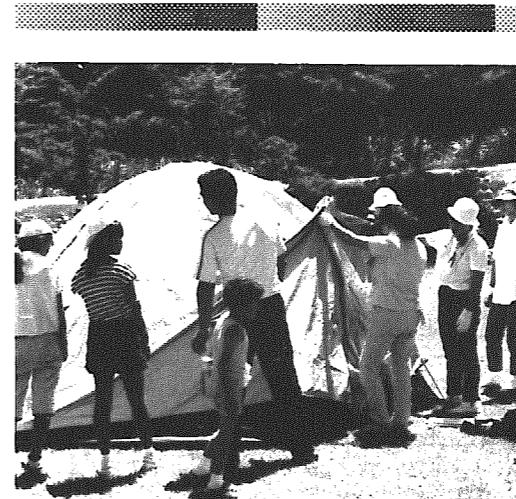
「甚句豆」のブランド名で出荷しています。早生種の出荷はもう終りましたが、先月下旬から今月中旬まで、茶豆の最盛期です。枝豆は朝一番に収穫されたものをきれいに葉揃えし、重さも統一され出荷されます。ことしの枝豆は昨年並みとのことで、ぜひ皆さんも味わってみてはいかがですか。

「ラジオ体操公認指導者認定証」をもらい立派な指導者に――。いまごろは、子供たちと一緒に毎日がんばっていることでしょう。

学校教頭・全国ラジオ体操幹部指導員と関川正男さんからラジオ体操の第一と第二のポイントを習った参加者は、「ラジオ体操公認指導者認定証」をもらっている立派な指導者に――。いまごろは、子供たちと一緒に毎日がんばっていることでしょう。

ラジオ体操はおまかせ

ラジオ体操というと、いまではすつかり夏休みの恒例行事になりましたね。あの懐かしいリズムに合わせイチツ、ニイツ、サン……と体を動かすのは子供たちだけでなく大人も楽しいもの。でもラジオ体操といつても、ちゃんと基本があります。そこで先月十二日と十四日の二日間、夏休みを前に正しい体操の習得を――とラジオ体操指導者講習会が公民館で開かれました。この講習会は郡内でも初めてとあって約百人が受講。講師の高橋勇さん（間瀬小学校教頭）と関川正男さん（間瀬小学校教頭）からラジオ体操幹部指導員



キャンプ用テントなどを購入 野外活動応援します



このほど青少年の健全育成を積極的に進めている日本生命財團から県を経由して、岩室子ども会連絡協議会（宮島正昭会長）に事業助成（五十万円）がありました。子ども会連絡協議会では、この助成を有効に活用するため、野外活動を通して親子のふれあいをさらに深めてもらおう――と野外活動用テント十五張と飯ごう三十個を購入しました。さっそく先月二十四日、丸小山緑地広場で開いた野外活動レクリエーション指導者講習会でお披露目をかね利用しました。みんなさんのところでも子供たちに夏休みに入り、子ども会や地域PTAで野外活動も計画されていると思います。貸し出しは子ども会や地域PTA活動に限つて行いますので、ぜひ利用したいという団体は設営の方法など説明が必要ですから、早めに公民館にお申しだきください。

いま健康への关心が非常に高まっていますが、村でもみなさん健康づくりを応援するため、このほど役場ロビーに気軽に血圧を計れる自動血圧計を設置しました。写真でもお分かりのように、ただ右腕を差し入れ、スタートボタンを押すだけで最高血圧・最低血圧・脈はく数がプリントされて出てきます。もちろん日付けや測定時間まで一緒に打ち出されますので、役場にお越しの際はぜひご利用ください。

お試しください血圧計